

(別紙3)

第34回水の週間 ウォーターフェア'10東京

水の週間記念シンポジウム

節水は新たなエコビジネスになりうるのか？
～ 節水型ライフスタイル・社会システムの提案 ～



平成22年7月30日 (金)

午後1時30分～午後4時30分

会場 / 科学技術館サイエンスホール
(東京都千代田区北の丸公園2-1)

- ・地下鉄東西線 「竹橋駅」 下車徒歩7分
- ・都営地下鉄新宿線 「九段下駅」 下車徒歩7分

主催：国土交通省
東京都
水の週間実行委員会

入場料無料
(事前申込制)



水の週間記念シンポジウムのテーマ

「水は大切に使うもの」「節水はよいもの」と、いろいろなところで見聞きし、なじみある言葉だと思います。ただ、皆さんは、なぜ節水がよいもので、そもそも節水に努めないといけないものなのかについて考えたことがありますか？

一方、世界に目を向けますと、水資源が逼迫しつつある国が多く、国をあげて節水機器の普及に努めている国が増加しています。また、日本企業は世界に誇る節水技術を持っており、この世界の情勢の変化は、新たなビジネスチャンスになる可能性があります。

このシンポジウムにおいては、国内外における節水に関する最新事情、節水の効果について紹介し、今後の国内における節水の普及、海外も含めた新たな方向性について議論を深めたいと思います。

また、今後産学官が連携して、節水を踏まえた新たな取組を始めようと考えています。このシンポジウムの場で、その取組の発足を宣言する予定です。

プログラム

■基調講演

「日本が誇る水の知恵を海外に」

三日月 大造（国土交通副大臣）



■話題提供

「住宅での水消費と節水機器の開発動向」

豊貞 佳奈子（独立行政法人建築研究所）

「環境影響評価のための水使用実態調査報告」

清水 康利（日本衛生設備機器工業会）

「節水機器普及の社会への影響」

山海 敏弘（独立行政法人建築研究所）

「節水への取組」

門田 浩司（愛媛県松山市総合政策部水資源担当部長付推進監）

■パネルディスカッション

「節水は新たなエコビジネスになりうるのか？」

～節水型ライフスタイル・社会システムの提案～

パネリスト 門田 浩司 コーディネーター 北野 大

山海 敏弘（明治大学教授）

清水 康利

豊貞 佳奈子

後藤 芳一（経済産業省大臣官房審議官（製造産業局担当））

谷本 光司（国土交通省土地・水資源局水資源部長）



申し込み方法 下記の申込書に必要事項を記入のうえ、切り取らずにそのままFAXにてお送りください。メールにて申し込まれる方は以下のアドレスよりお願いします。
<http://www.water.go.jp/honsya/honsya/torikumi/waterweek/event/symposium.html>

申込先 水の週間実行委員会事務局 TEL048-600-6513 FAX 048-600-6510

水の週間記念シンポジウム参加申込書

お名前	
ご連絡先	
職場・会社名	
参加人数	名